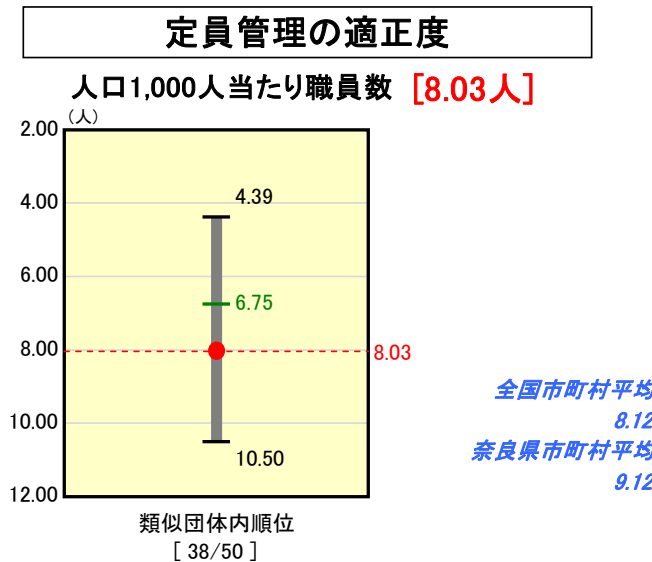
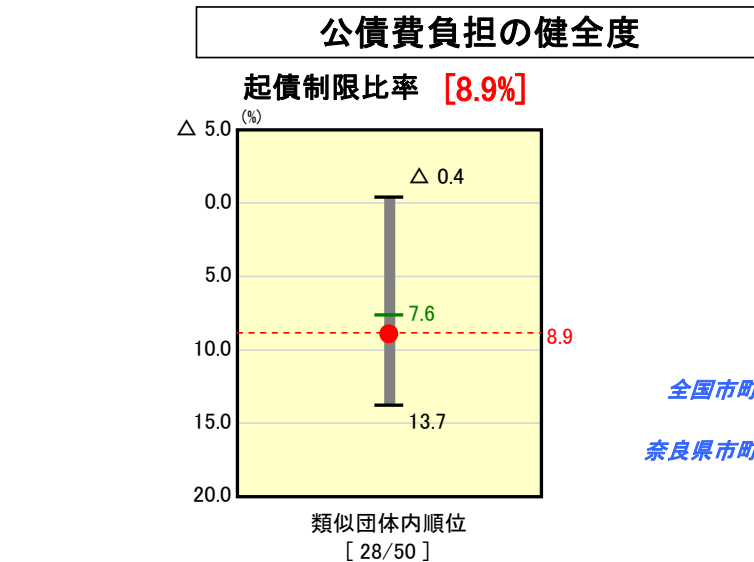
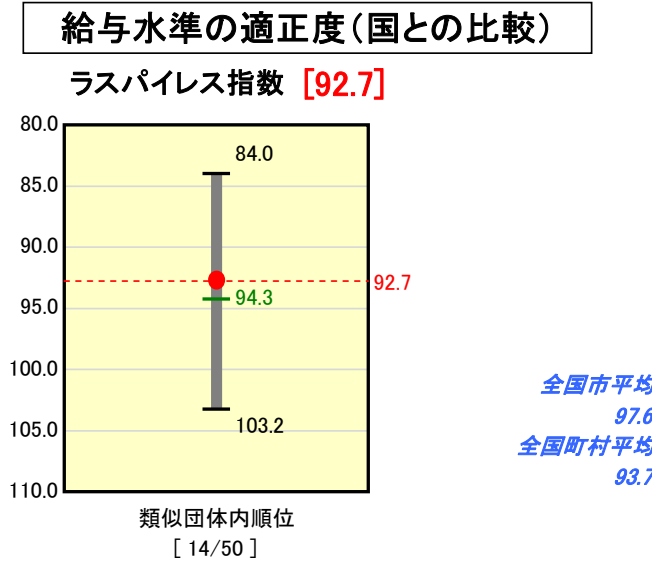
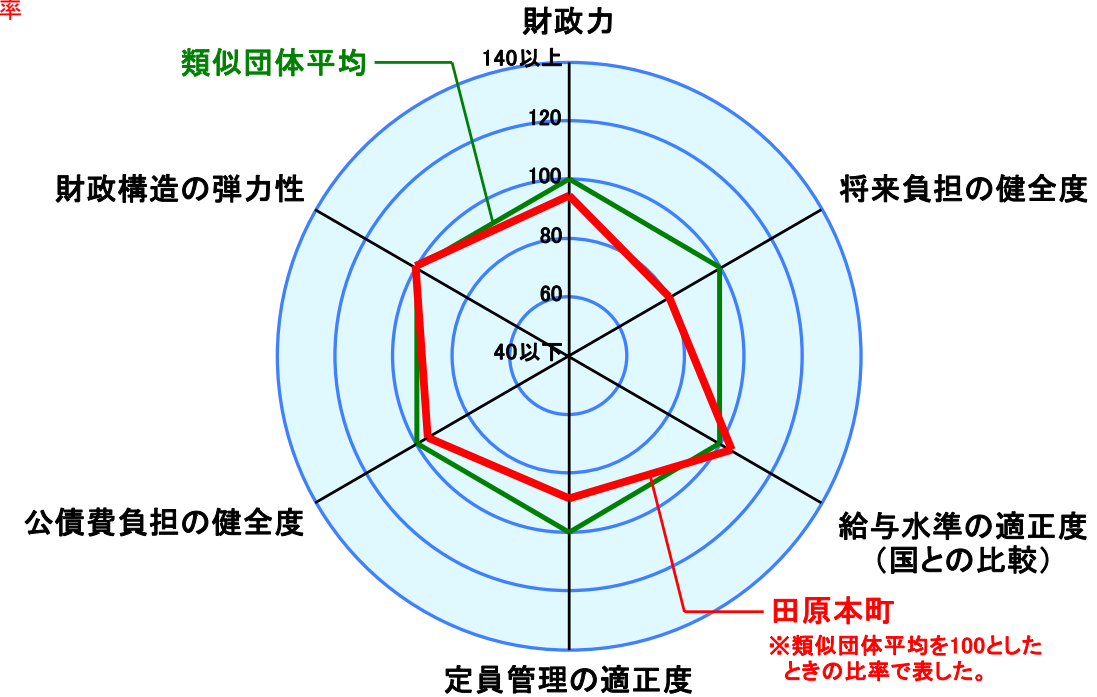
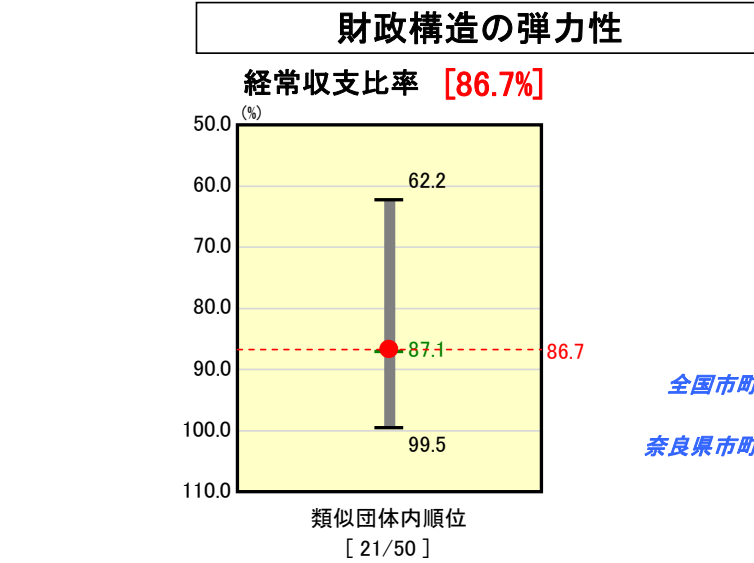
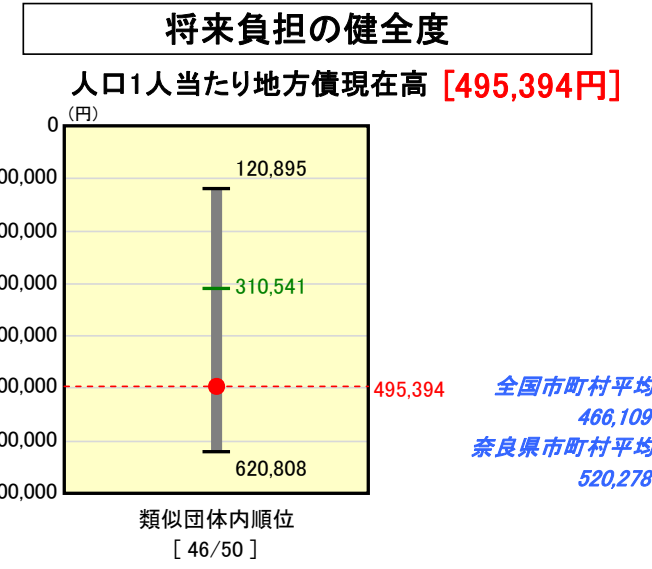
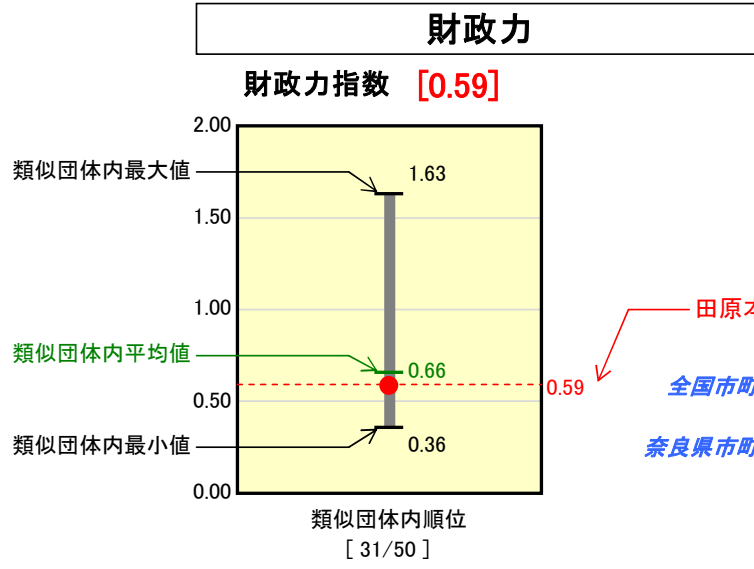


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

奈良県 田原本町

人口	33,389人(H17.3.31現在)
面積	21.10 km ²
歳入総額	13,106,653千円
歳出総額	12,418,057千円
実質収支	688,477千円



分析欄

「財政力指数」: 類似団体平均を上回る税金があるために基準財政収入額が約1億3千万円多くなっているが、公債費等の増加に伴い基準財政需要額は約6億6千万円多くなっている。このために財政力指数は類似団体平均を下回っている状態にある。税金の確保に努めるとともに、投資的経費や公債費を抑制していくことによって財政基盤の強化を図っていく。

「経常収支比率」: 物件費や公債費等、経常経費の大幅な増加により上昇傾向が続いている。このため平成18年度予算編成から、経常経費の前年度当初予算額対比20%削減を図ることとし、併せて補助金等の見直しや公の施設の指定管理者制度への移行等、経常経費の節減に努めるとともに、受益者負担の適正化を図り、財源の確保に努める。

「起債制限比率」: 今年度については、類似団体平均をやや上回っている程度であるが、来年度以降(仮称)総合生涯学習センター建設事業に伴う起債の償還が始まるため、上昇傾向が続くものと思われる。

「人口1人当たり地方債現在高」: 平成13年度から平成16年度にかけて実施した(仮称)総合生涯学習センター建設事業等により類似団体平均を大幅に上回っている。今後の見通しであるが、新たに地方債を財源とした田原本駅周辺整備事業や清掃センター建設事業等の取り組むべき事業があるが、毎年約11億円程度の元金償還があることから、地方債残高は減少する見込みである。

「ラスパイレス指数」: 主査以上の昇給については、20年前から試験制度を導入し、給与抑制に努めてきたため、平成17年4月1日の指数は類似団体の平均を下回っているが、平成18年度からは主事のわたりについても廃止し、給与の縮減努力をなお一層すすめていく。

「人口1,000人当たり職員数」: ごみの収集及び処理、訪問介護事業を町が直営で行っているため、類似団体の平均値を上回っている。その対策として、ごみ収集処理作業員、給食調理員、用務員等の技能労働者については、5年前から退職者補充を行ってこられ、今後も同様に補充は行わず日々雇用職員等で対応していく。また、平成18年度から指定管理者制度を導入し、町営施設の民間委託を図る等、今後5年間で職員数を削減していく。